

和歌山東南ロータリークラブ

国際ロータリー第2640地区

本日(6月29日)通算1682回目(本年度46回目)の例会 最終親睦夜間例会
本日のソング 我等和歌山東南ロータリー・手に手つないで

2004~2005会長:中村美之 / 副会長:八塚啓司 / 幹事:神谷尚孝 / SAA:郷間博敏
〒640-8227 和歌山市西河丁26 経済センター7階 TEL.073-423-3666 FAX.073-423-7200
E-mail:rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary/rotary.html
例会日時:第1・2水曜日(18:30) / 第3・4・5水曜日(12:30) 例会場:「華月殿」(和歌山市屋形町2-10)
2004~2005年度RIテーマ ~ロータリーを祝おう~
RI会長:グレン E. エステス シニア 2640地区ガバナー:中島治一郎(泉大津RC)

2004~2005



週報

クラブ会報委員会
委員長:井畑順三 副委員長:鯨 拓也
委員:竹中昭美

先週(6月22日)通算1681回目(本年度45回目)の例会報告

郷間SAA

出席報告 【会員数】 40名(内出席免除会員5名・名誉会員1名) ◇前回(6月22日)24名(68.57%)

◆メイクアップ後(6月8日)32名(91.43%)

出席率をアップさせよう

会長報告

中村美之 会長



今日は、本日を含めて後29日夜間例会が最終となります、あと1日おつき合いをお願い致します。

本日会長報告はありません。

▼「ロータリー年度」100年の変遷

- ・1992年(平成4年)13年前。金丸信副総裁辞任。金融戦国時代幕開け。地球サミットリオで開催。ユーゴスラビア崩壊。きんさん、ぎんさん。「君がいるだけで」
- ・1993年(平成5年)12年前。北海道南西沖大地震。モスクワ騒乱エリツインが武力制圧。金丸前副総裁逮捕。
- ・1994年(平成6年)11年前。円高一時80円台に。村山社会党政権誕生。ニクソン元大統領死去。金日成死去。大江健三郎にノーベル文化賞受賞。アップルパワーマッキングトッシュ発売。

▼今日は何の日

- ・1752年。フランクリン、雷雨の中で空中電気の実験。長崎外国人居留地で英字新聞、The Nagasaki Shipping-List
- ・1861年。Advertiser発刊。出島にインターナショナルボウリングサロン開設、と掲載。
- ・1867年。薩土盟約、締結。薩摩藩代表は西郷隆盛、大久保利通など。土佐代表は後藤象二郎、坂本龍馬、中岡慎太郎など。
- ・1897年。京都帝国大学設立
- ・1907年。東北帝国大学を設置

ニコニコ箱

奥村智子 会計



出席委員長 駒阪純章



松浦君◆市川さん、駒阪さん、いつもありがとうございます。ごさいます。

奥村(智)君◆渡辺さん、一年間お世話になり有難うございました。

合計6,000円(累計1,779,183円)

米山記念奨学金

土屋一博 委員長

稲葉君♣欠席続きで、申し訳ありません。

(累計804,000円)



35周年記念BOX

釜中 甫干 委員長



山口君★釜中さん、先日はお世話になりました。後数日、来期は頑張ります。

楠本君★釜中委員長、先日はお世話になりました。

土屋君★先日はお世話になりました。これから35周年委員会、宜しくお願ひします。

合計30,000円(累計728,000円)

昨年度(副委員長)に続き、2年連続で「週報」を担当致してまいりました。

昨年度は入会2年目での「週報」担当ということで、ロータリーがよく理解できない中での編集作業でした。

第一回例会の写真を消してしまった時には、全身血の気が引ける思いをしてから、はや二年が経ちました。怪我の功名で、苦し紛れに描いたイラストが思いのほか好評をはくして「やれやれ」と胸をなで下ろしたが、それはやがてやって来る「イラストのネタ」探しに苦労する日々の始まりでした。

編集については職業柄そう苦労といったものは感じませんが、毎週やって来る締切り日との戦いでした。原稿はメールでもらったり、手書きの原稿は事務所の渡辺さんに入力をお願いしたりで随分楽をさせていただきました。

1年目の経験を踏まえて、①各委員会や同好会に紙面を活用してもらおう。②会員の近況や情報などのテーマのコーナーを作る。などを期首の目標に掲げましたが。とてもとても一人で一週間の内

で企画、取材、編集するということは無理だとわかりました。ましてや毎週となると…

クラブ会報委員は5~6名で構成されていますが、今後紙面の充実、制作者の負担軽減を考えるならば、期首に企画会議をもって、テーマの分担、発行週の割り当てなどで、負担軽減、内容充実を計るのが一番良い方法ではと考えます。

ロータリーにおきましては、RIの活動、地区の活動以前に、自分達のクラブの活動、今年はこの委員会はこの活動をしているのかを知っておくことで、委員会への理解や協力通じて、地区、RIへと認識が深くなっていくものだと思います。「週報」というものの存在意義は単にクラブの活動をきめ細かく報告することで、ロータリー活動を理解し、ひいてはロータリー活動全般への興味を引出してゆくことができる第一歩となれば最高なのだと思います。

今後も記録としての週報。報告としての週報、読み物としての週報と編集者の色が出た楽しいものになっていくことを期待し、また協力できることはお手伝いしていきたいと考えます。

委員会報告

米山記念奨学委員会

元米山奨学生の班文林さんが6月12日(日)に県民文化会館において開催されました「第33回和歌山県新人演奏会・オーディション」に参加のため来日。

作曲作品「モンゴル草原組曲1部」を和歌山大学のメンバーの方々と演奏・発表さ、無事予選を通過。9

月の本大会に出場することとなりました。おめでとうございます。



同好会だより

ゴルフ同好会

島村会員



年間チャンピオン決定!

麻雀同好会

郷間会員

